

膵臓の線維芽細胞マイクロアレイデータを用いた膵癌バイオマーカーの探索的研究

研究対象：

国立がん研究センター東病院で2000年1月1日から2017年3月31日までに、膵癌と手術を受けた患者さんを対象としています。

研究の概要：

膵がんは、初発例でも、大半が局所進行例や遠隔転移例で、治療成績は非常に不良な腫瘍性疾患です。膵がんはがん細胞周囲の微小環境における間質反応が強い腫瘍として知られており、膵がんの浸潤や転移にはその間質反応が強く関係しています。

これまで我々は、大腸がんや胃がんにおいて、がん細胞周囲の微小環境の中で、その成分の一つである線維芽細胞に着目し、臨床的に予後と関係する因子などについて、研究を行っています。今回の研究では、膵がんにおいて、がん細胞周囲の微小環境の特徴の解明や、予後を予測する因子を明らかにすることを目的としています。

研究の目的および意義：

がんの悪性度を決定する微小環境の解明と、膵がんの予後を予測する因子を明らかにすることが期待されます。

方法：

本研究は2000年1月1日から2017年3月31日までに国立がん研究センター東病院で膵がんに対して外科的切除を受けられた患者さんの、診療録、手術時に得られた標本から作成したプレパラートや組織ブロック、残余病理検体を使用します。収集した線維芽細胞のデータが、患者さんの臨床情報などどのように関連しているかについて、統計学的手法を用いて明らかにします。

個人情報保護に関する配慮

本研究実施に際していかなる個人情報も院外に出ることはありません。また患者さん等からのご希望があれば、その方の診療録及び画像データは研究に利用しないようにしますのでいつでも下記まで申し出てください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

国立がん研究センター東病院 肝胆膵外科 西田保則（研究事務局）

国立がん研究センター 先端医療開発センター 小嶋基寛（研究責任者）

TEL 04-7133-1111 / FAX 04-7131-4724